

課題解決に資する取組提案等まとめ

〔区の特徴〕

- 日常生活に自転車が切り離せない／平坦な土地で利用しやすい。台数が非常に多い。(1家庭で複数台所有するケースも多い)
- 多様な区民の存在／転入者と従来からの住民、多世代、外国人、障がい者など→相互の理解が今後のまちづくりのカギ、特定の層を悪者にしない。
- 短時間利用(買物など)の自転車(駐輪)対策が課題／対応に苦慮。商店街にも配慮した対策が必要。(路上陳列等と併せて対応)

検討のポイント

- ・区の特徴や現状(中原区らしさ・特徴)
- ・区民会議の取組として(意義や妥当性・効果)
- ・緊急性・優先性(深刻度、適した機会・時期)
- ・実現性(担い手・費用・手段等)
- ・話題性(当事者性、ニュース性)
- ・共感性(やってみよう、やってみたい)

検討経過		
課題分野	課題・発生個所	解決の方向性、取組の例や案など
自転車に起因する交通事故	<ul style="list-style-type: none"> ■自転車危険運転・違反運転 …信号無視・夜間の無灯火・スピード等 ■事故の増加・深刻化 …多額の賠償金、未成年者の事故等 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の取組の周知・徹底 交通安全教室・活動浸透、広報強化 ・自転車保険加入の奨励・促進 TSマーク、PTA等での保険加入奨励 ・事故事例等の広報
ルール …法令、警察取締 →周知 取締	<ul style="list-style-type: none"> ■駐輪場利用促進…買物客一時利用等 ■自転車の安全・安心通行環境づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・駐輪場の整備・拡大 ・危険・課題箇所マップづくり 多世代の参加によるワークショップ
	<ul style="list-style-type: none"> ■路上駐輪…歩道・点字ブロック上等 →平間駅周辺:ガス橋～小杉方面他 ■路上陳列…歩道占拠・通行妨害 →区内商店街など 	<ul style="list-style-type: none"> ・花壇、ガードポール等 設置による駐輪防止
マナー …思いやり 譲り合い 相互理解、共存、常識、他者配慮 →啓発 普及	<ul style="list-style-type: none"> ■ルールの周知・認知の拡大 ・携帯・傘等の「ながら運転」 …違法性の認知がない場合も多い ・自転車=(軽)車両の意識がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の活動の浸透・広報強化 ・高齢者向け自転車安全教室/老人会 ・自転車安全運転者証の発行/市、ボイスカウトの取組/講習会/特典等
	<ul style="list-style-type: none"> ■通行マナー …並列通行、「ながら運転」 …大人(親・現役・主婦等)、中高生 ■ながらスマホ…歩行、ベビーカー等 ■自転車マナー…過速度、歩行者無視 ■ベビーカーのマナー…スピード、並列通行 ■通勤・通学時の混雑・危険運転等 →保育園の送迎、出勤(小杉駅周辺等) ■マナーを“知らない”人・子ども 	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車マナー教室の開催 参観日、家庭教育学級、小中学校成人委員会、町内会などの活用 ・SNS等を活用したアピール 中高生向け ・ベビーカーのマナーのパンフレット作成、配布 配布は健診時などを活用 ・マナー喚起用の看板の設置 ・啓発標語の選定と活用
環境の未整備	<ul style="list-style-type: none"> ■自転車通行帯表示の断絶・不明瞭さ ■安全・安心な歩道の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車通行帯・案内の整備・充実 ・循環型ミニバスの検討

取組提案(案)

○短期的に取り組めるもの/交通ルール・マナーの普及・啓発を目的(できることから取り組む)

取組①「みんなで育てる交通マナー」啓発資料の作成・活用 ※中原区らしさ・分かりやすさ・読まれやすさを重視、イラスト等で表現

- **ベビーカー利用者や周囲への配慮に係る啓発資料**…安心して通行できる環境づくり(国交省所管の協議会の資料の活用など)
 - ・利用マナーの啓発資料/子育てサロン、健診等の場で配布
 - ・周囲の配慮に係る啓発資料/駅周辺街頭、施設、商店等で掲示
- **参加型の仕組みから作る啓発資料**…参加型、公募型による交通ルール・マナーの標語募集やポスターコンテストの実施
 - ・入選作品を啓発資料として活用/パンフレット、しおり、マグネット、クリアファイル、カレンダーなど、手元に残る‘形’の検討
 - ・学校や区民の集まる場を活用/イベント等の際に配布
- **その他の広報・啓発手法**
 - ・動画の記録や作成とその公開、バス車内や区役所庁舎内でのアナウンスなどの検討

取組②交通ルール・マナーの学習機会の強化・拡大

- **スクリーン方式の交通安全教室の拡大**…訴求力の高い方式の強化、中高生だけでなく小学生や保護者の体験機会の増加
- **啓発機会の拡大**…世代に応じた取組や講習の実施(例)高齢者→老人会などの活用、親子→参観日や家庭教育学級などの活用

○中長期的に取り組めるもの/取組を広げ、「みんな」で交通マナーを育む(短期的な取組の成果を踏まえて、実現を目指す等)

取組③キャンペーン・イベントの開催

- **普及啓発を推進するためのしくみづくり、キャンペーンの展開**
 - ・サイクルの日(3・19)、二輪の日(20)等の設定し、定期的な意識づけや強化期間を設定、一斉活動の展開、広報大使による啓発など
- **発表・交流の場としてのイベント開催**
 - ・既存のイベント等での出展やステージでの発表等の展開、区民祭・区民会議市民報告会等の「場」の活用
- **イベント等で自転車安全点検を実施**
 - ・イベント等での自転車点検(タイヤ、ブレーキ、ライトなど)→‘点検済シール’等の配布(※自転車販売業者等との連携)

○その他(機会を捉えて実現を図りたい取組)

- 交通マップづくり**…地域の交通事情や課題の発見、共有化を図る、多世代の参加型ワークショップの実施→課題箇所の洗い出しなど
- 駐輪環境の整備等**…駐輪防止の花壇やガードポール等の設置、民地活用の一時駐輪場を設置(参考:茅ヶ崎市・軒下駐輪場)
- 自転車安全運転者証**…自転車の整備・点検や自転車保険、交通安全の講座の受講等で認定→魅力的なデザイン、証明書の権威付けや特典付与の他、継続的な仕組みづくりについて長期的な検討が必要(※警察等の関係機関との連携)

○その他(課題の共有と働きかけの継続を図りたい地域課題)

- コミュニティ・循環型バス**…今回出された意見、課題などを整理し、報告書に掲載

「地域コミュニティ、みんなで育てる交通マナー ～歩きやすいまちに～」

- ①「地域コミュニティ」の活性化・連携 ②「みんなで」(多様な区民が共に)取り組む ③「相互理解、マナー、思いやり」を育む ④「歩きやすく、住みやすいまち」の実現